



1 セレモニーホール永田屋本社
3 「働きがいのある会社」ランキング3年連続でベストカンパニーに選出

2 キャリアに応じた研修制度
4 マイナビ人気企業ランキング 冠婚葬祭部門トップ10入り

日本一のライフエンディンググループを目指す 高業績と働きがいを両立

(株)永田屋 代表取締役 田中 大輔氏

永田屋（緑区橋本）は、葬儀会社グループとして高い業績を上げ続けながら、働きがいのある会社や新卒人気についてのランキングで上位につけるなど、人材育成、採用にも定評があります。また、地域貢献に対して熱心に取り組み、地元・相模原市とも包括連携協定を結んでいます。葬祭業を基盤としつつ、事業領域を拡張させたライフエンディング事業全般を見据えており、グループのさらなる飛躍が期待されます。今回は田中大輔社長に採用や人材育成、社員の働きがいを高める考え方などについて聞きました。

■人材育成について教えてください。

「本来はまず『採用が何より大事』なのですが、大企業と比べて人材が集まりにくい中小企業においては、今いる人材を磨くことを優先させる必要

があります。そのため、私が社長に就任して以来、人材育成に注力しています。当社が大切にしている指針として『仕事に慣れても悲しみに慣れてはいけない』という価値観がありま

す。私たちは何千、何万という葬儀を執り行わせていただいておりますが、お客様にとっては世界でたった一つのお葬式です。常にお客様に寄り添うことが私たちの使命です。そのため、従業員に対しては『誰のため・何のため・なぜこの仕事をしているのか。この仕事を通じて自分自身がどんな人生を送っていききたいのか』について、折に触れて立ち返るという目的教育・価値観教育を実施しています」

■新卒採用でも毎年1000人ほどのエントリーがあるそうですね。

「はい。当社の場合『社員全員が採

用担当である』という方針のもと、面接や面談は全員参加型で取り組んでいます。例えば、合同会社説明会で当社に興味を持たれた学生さんから応募があり選考を進める場合、面接は3次、4次位まで実施します。実際は、面接と面接の合間に社員との面談も入れているため、トータルでは7、8回の面接・面談を行っています」

■経営トップとして心掛けていることは何でしょうか？

「一般的に上司は『社員を変えよう』としまいがちです。特にトップに立つと外から意見を言われることが少なくなり、自分を変えることに最も抵抗があるため、周囲を変えようとしています。ただ、私は逆と考えます。一般的によく言われることですが、他人と過去は変えられないけれど、自分自身と未来は変えられます。こういう考えで経営をしています」

「私は2013年に社長となり、その半年後に父が亡くなりました。父の葬儀には約1500人の方が弔問に來られました。そこで初めて聞く父の姿や、どれだけ人の役に立ってきたかということも多くの方から教えていただきました。自分の親を見送るという経験を経て、葬儀の仕事の価値についてあらためて気づかせてもらい、自分自身が変わらなければならないという思いを強くしました」

■高業績と従業員の働きがいも両立させています。

「おかげさまで、当社は過去最高の業績となる一方で、採用や働きがい、健康経営、DXに関する賞もいただき、企業価値向上とも両立することができるようになりました。高い生活水準と社内の良好な人間関係、企業価値向上を両立させている企業は、全国でも数少ないと思います。女性の役職

者も増えてきており、女性がより活躍できる職場づくりを推進しています」

「また、当社では“ビジネスにおいてはサクセス、プライベートにおいてはハピネス”をモットーにしており、従業員には家庭を大切に、家族とともに幸せな生活を送ってほしいと考えています。同様に、お客様にも豊かで幸せな人生を歩んでいただけるよう、日々の事業活動に取り組んでおります。葬儀と幸せは結びつきにくいイメージですが、私たちは、人の後悔や孤独、悲しみとったマイナスを少しでも和らげ、プラスに変えていく仕事をしています。企業としては今後、日本一の“ライフエンディンググループ”を目指しています」

(株)永田屋

〒252-0143

相模原市緑区橋本8-1-1

TEL：042-772-2554

<https://www.e-nagataya.com>